

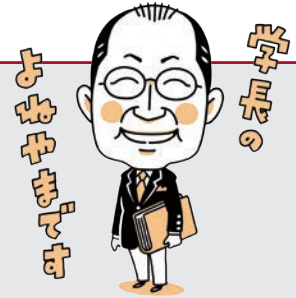
出願前の6ステップ

01 | 入試方式を知る



入試方式選び方ガイド

あなたの「強み」や「経験」を活かせる入試方式がきっと見つかる！



総合型選抜

小論文対策を活かしつつ、APUでの学びや様々な活動への意欲を伝えたい！

▶ **「総合評価方式・論述型」**

高校時代に取り組んだ「探究的な学び」で深めた思考力を活かしたい！

▶ **「総合評価方式・探究型 ～ロジカル・フラワー・チャート型～」**

高校時代に取り組んだ活動（英語外部資格試験・課外活動・留学経験等）をアピールしたい！

▶ **「活動アピール方式」**

海外での学修経験、生活を通して得た学びを活かしたい！

▶ **「帰国生徒（海外就学経験者）選抜」**

高校時代に取り組んだ国際バカロレア（IB）のディプロマ取得に至る学びを活かしたい！

▶ **「国際バカロレア（IB）選抜」**

一般選抜

得意な教科を活かして受験したい！

▶ **本学独自試験「前期方式」「英語重視方式」「共通テスト併用方式」**

国公立大学受験対策を活かして受験したい！

▶ **大学入学共通テストを利用した各方式**

3月入試で最後まで頑張りたい！

▶ **本学独自試験「後期方式」／共通テスト利用「共通テスト＋面接方式」「共通テスト方式（後期型）」**

英語外部資格の得点を受験で活用したい！

▶ **「一般選抜」すべての方式（本学独自試験、共通テスト方式）**

02 | 希望する入学時期を選択する(4月 or 9月)

総合型選抜・編入学・転入学試験

※2025年4月以降に選考をする総合型選抜、編入学・転入学試験は9月入学が対象になります。

一般選抜 すべての方

4月

出願時に選択

9月

4月

03 | 志望する学部を決める

全学部同じ方式の入学試験を実施しますので、学部別の対策は不要です。併願の仕組みについては入試ガイドのP5、P20をご覧ください。各学部の学べる内容はQRコードからご覧ください。

サステナビリティ
観光学部
ST



国際経営学部
APM



アジア太平洋学部
APS



04 | 初年次教育寮「APハウス」の入寮希望有無を選択する

国内学生の92%が入寮

入学後の1年間、希望する方は全員が入寮可能です。出願時のみ申請ができます。APハウスの詳細はQRコードからご覧ください。



APハウス寮費減免制度について

入学後の経済支援を目的にAPハウスの寮費の半額が給付される制度です(最大60名)。出願とは別の期間内に申請が必要です。



入寮期間・入学手続き時に納付する寮費前納金

入寮期間		4月・9月入学者共通 寮費前納金 (寮費減免制度利用者含む)	
4月入学	9月入学		
1・2年生入学 2025年3月下旬～2026年2月末日 3年生入学 2025年3月下旬～2027年2月末日	1・2年生入学 2025年9月中旬～2026年8月末日 3年生入学 2025年9月中旬～2027年8月末日	入寮費	32,000円
		敷金※1	98,000円
		寮費※2	104,000円
		合計	234,000円

※1 寮に居住するための保証金です。寮費の未納がある場合、または入寮者の過失によって発生した居室の修繕については敷金より精算し、残額については退去後に返金します。
 ※2 寮費：(内訳) 4月入学者 2025年4月分寮費52,000円、5月分寮費52,000円(APハウス5基準)、9月入学者 2025年9月半月分寮費26,000円、10月分寮費52,000円、11月半月分寮費26,000円(APハウス5基準)、APハウス1または2に入寮する方は、入寮後に納める寮費にて差額分を減額します。

05 | 国内学生優秀者育英奨学金の希望有無を選択する

4年間の授業料を全額免除します

APU2030ビジョンならびにアドミッションポリシーに示す力および英語外部資格試験スコア等を含む出願書類、入学試験成績を総合的に判断し、入学試験の成績優秀者に支給される奨学金です。出願時に希望有無の選択が必要となります。最大4年間で580万円（見込み）の授業料が全額免除されます。

奨学金の希望有無は、合否に一切影響しません。本奨学金の受給対象となっても他大学への受験、他大学への入学を制限することはありません。

06 | 自身の英語力に合わせて「入学基準言語」を選ぶ

出願時に英語が不安でも大丈夫。ご自身の英語力にあわせて選択してください。

入学基準言語って何？

APUの教育の特色のひとつが、日本語と英語で授業を開講する「日英二言語教育」です。入学希望者は入学試験の出願時に入学基準言語として「日本語基準」、「英語基準」のいずれかを選択します。入学時には新入生全員が入学基準言語とは反対の言語のプレイスメントテストを受け、その結果をもとに、それぞれの能力に応じた適切なレベルから必修言語科目の履修を開始します（3回生入学者を除く）。

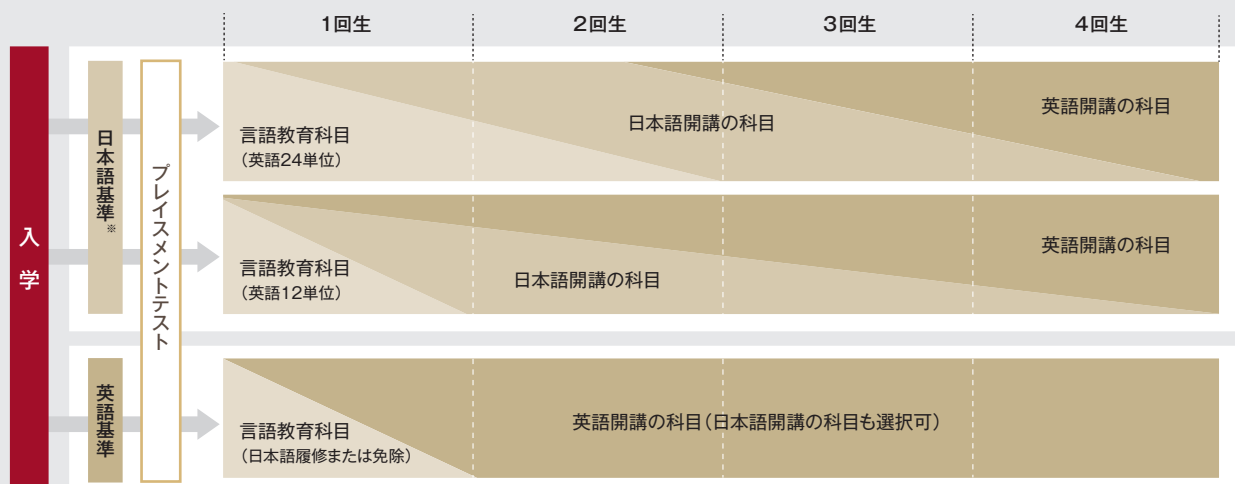
日本語基準とは？

日本国内の高等学校を卒業した国内学生の大多数は日本語基準で受験し、入学しています。日本語基準の国内学生は、1～2回生時は日本語開講の共通教養科目や専門教育科目を中心に履修します。同時に、言語教育科目「英語」を履修し、英語開講の専門教育科目を履修できる水準を目標に学修し、各々の英語力の伸長に応じて英語開講の履修科目数を段階的に増やしていきます。日本語基準の国内学生については、入試方式によっては出願資格として英語力に関する要件を定めていませんが、入学時における標準的な英語力水準は、TOEFL iBT® Test45～61点程度、IELTS (Academic Module) 5.0～5.5程度、英検® CSE2.0スコア1980点以上程度です。なお、日本語基準の国内学生については、英語開講の共通教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得することを卒業の要件としています（卒業に必要な単位数：124単位）。

英語基準とは？

入学当初から英語開講の共通教養科目や専門教育科目を履修しますので、中学・高校に相当する課程において英語で教育を受けた方や、英語圏の学校への長期留学を経験した方などに適しています。1回生入学で英語基準の国内学生については、TOEFL iBT® Test75点相当以上のスコアを有すること等を受験時の出願資格としていますが、入学者の標準的な英語力水準は、TOEFL iBT® Test80～100点程度、IELTS (Academic Module) 6.0～6.5程度、英検® CSE2.0スコア2304点以上程度です。なお、英語基準で入学した学生については、言語教育科目「英語」を必修とはしていませんが、選択科目として一部の「英語」科目の履修を認める場合があります。

日本語基準は「英語科目」が必修！英語の履修トラック



※日本語基準の方も英語言語クラスが準上級クラス（IELTS6.0相当）でスタートすると、英語開講の授業も最初から選択できます。